



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No.4
令和3年5月28日
校長 芹澤敏光

令和3年度 学校経営計画 校長 芹澤敏光

府中第十中学校の教育目標

将来の日本を担うにふさわしい底力のある人間性豊かな生徒を育てる。

そのために、本校が目指す生徒像を「よく学び よく考え 元気に 実践する生徒」とし、以下を掲げる。

- ・基礎学力をしっかりと身に付ける。
- ・正しい判断力を養う。
- ・積極的に体力づくりをする。
- ・なにごとにも進んで実践する。

1 学校経営の柱

- (1) 学力の向上
- (2) 利他の心を柱とした人格の向上
- (3) 保護者・地域との連携
- (4) 教職員が意欲をもって職務に精励できる環境

2 目指す学校像・生徒像・教職員像

(1) 学校像

- ① 「子供が毎日通いたい学校」
- ② 「保護者に信頼される学校」
- ③ 「地域から愛される学校」

(2) 生徒像

- ① 「第十中学校の生徒であることを誇りに思える生徒」
- ② 「努力と誠実さや正義を大切にできる生徒」
- ③ 「『明るいあいさつ きれいな学校 時間を守る』を実践する生徒」
- ④ 「喜びや悲しみ・苦しみを友達と分かち合い、仲間と共に成長しようとする生徒」
- ⑤ 「自分で考え、判断し、行動する生徒」

(3) 教職員像

- ① 「人間性が豊かで実践力のある教職員」
- ② 「高い人権意識をもち、使命感、情熱のあふれる教職員」
- ③ 「受容と信頼に満ちた教職員」
- ④ 「自分に厳しく他に優しい教職員」



《登校時のあいさつ運動》

3 学校運営

(1) 学習指導

学校生活の中で、最も多くの時間を費やすのが授業である。そのために常に工夫と改善を行い、生徒同士の関わりを大切に、主体的な学びを進める。また生徒が「分かった」と思える授業、「力が付いた」と実感できる授業の推進に努める。

- ① 自ら学び、自ら考える力を育成するための指導方法の工夫・改善。
- ② 言語活動（読む、書く、話し合う）の充実。
- ③ 基礎・基本の確実な定着や学習意欲の向上を目指した取り組みの充実。
- ④ 一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導の充実と能力の伸長。
- ⑤ ICT機器の積極的な活用。

（２）生活指導

学校から「いじめ」を根絶する。生徒の人間関係を的確に把握するとともに、全ての生徒にとって、居心地がよい「居場所」となるように調整を図る。生徒は未熟であり、成長途上にある。一人一人の個性・特性を踏まえ、教え導いていく必要がある。

- ① 常に組織として対応を行い、共通理解・共通実践を徹底する。
- ② 基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- ③ 生活指導上の問題は、生活指導主幹に情報を集約し、情報の共有化を図る。（報告・連絡・相談）
- ④ 挨拶・礼儀・身なりを徹底して指導する。不要物の持ち込みに対しては毅然とした指導を行う。
- ⑤ 教育相談を重視し、生徒理解を深める。スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、個の状況を捉えた支援を推進し、不登校の未然防止に努める。
- ⑥ SNSなどの正しい使い方を指導し、トラブルの未然防止に努める。
- ⑦ 生徒の将来を考え、保護者への情報提供や協力依頼は丁寧に行う。常に客観的事実に基づいて指導を行う。

（３）進路指導

各学年の発達段階に応じた進路指導を展開し、自らの生き方を考え、夢や希望を抱き、主体的に自らの進路を選択できるように意図的・計画的な指導の充実を図る。

- ① 「生き方」の指導の充実を図り、人としてどう生きるかを考えさせる。
- ② 生徒の自己理解を深めさせるとともに、情報の提供、体験的な学習の実施により望ましい学習観、勤労観、職業観を養う。
- ③ 全体指導、個別指導の充実を図り、日々の学習への意欲が高まることを目指す。
- ④ 社会人として身に付けておくべき、接遇スキルを学ばせる。

（４）特別活動

集団の一員として、互いに認め合い、励まし合い、助け合う望ましい集団生活の場を工夫し、生徒の自主的、実践的な態度を育成する。班活動や学級活動、生徒会活動のより一層の活性化を図る。

- ① 学級活動を基盤として、学習班・生活班を設定し、活動させる。また、学校行事、学年行事、生徒会活動、部活動など、生徒一人一人のもつ能力や個性を発揮させる場を設定し、生き生きとして活動ができるよう活動内容を充実させる
- ② 生徒会活動の活性化を図り、リーダーの育成を推進し、生徒の健全育成をはかる。
- ③ 師弟協働を率先し、できうる限り生徒と接する機会を持つようにし、生徒と教師、生徒と生徒が相互に心が通い合う温かい人間関係を築く。
- ④ 学校行事の中で、体育的行事及び文化的行事については、限られた準備期間で、できることを行う。
- ⑤ ボランティア活動や地域行事への参加を通して生徒に地域社会の一員である自覚をもたせるとともに、地域から生徒が認め励まされ成長できるように支援する。

(5) 道徳

心の教育の充実を図り、生徒の正義や物事に誠実に取り組む姿勢を大切にするとともに、人を思いやる心の育成を図る。

- ① 適切な評価を行い、学校教育の信頼性を確保する。
- ② 道徳科の全体計画に基づき、全教育活動を通して道徳教育を行う。
- ③ 道徳科の授業では、生徒に自分を見つめさせ、考えさせる時間とする。
- ④ 人間として、よりよい生き方を考えさせ、内省をせまる指導を行う。
- ⑤ 時季や行事を見据えた道徳科の授業を展開する。

(6) 総合的な学習の時間

- ① 「日本やふるさと府中の良さや伝統文化の継承」「生命尊重と安全なまちづくりや共生社会の実現」「自分の将来や職業に対する夢やキャリアプラン」をテーマとして、課題解決型学習を展開する。
- ② 生徒の主体的な活動を一層進めるため、図書館や市内の文化財、美術館などを活用し、またICT機器を活用することで情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方などを身に付けさせる。
- ③ 各教科や他の領域との関連を図りながら、自己の生き方について考えさせる指導を行う。

(7) 部活動

部活動は中学校教育にとって重要な教育活動である。職務として位置付けていく。全教職員で部活動の負担を分担していく。

- ① 生徒の健全育成のためにある。
- ② 生徒の人間教育を行う場とし、勝利至上主義に陥らない。
- ③ 「ガイドライン」を遵守する。
- ④ 部活動のあり方について、教職員で共通理解を図りながら運営する。

4 その他

(1) 開かれた学校づくり

学校は地域・保護者、PTAの理解と諸活動に支えられている。我々もPTAの活動に積極的に参加、協力していく。

(2) 教育公務員としてサービスの厳正を徹底する。また予算の適正な執行、保護者の経済的負担の軽減に努める。

学校生活の様子

安全を配慮し工夫をしながらの学校生活が続いています。全校生徒が一堂に集まった活動はまだ難しい状況ですが、ICT 機器やオンラインを利用して進めています。

《対面式》



(部活動の紹介)



(委員会の紹介)

2, 3年生の代表生徒が1年生に委員会や部活動の紹介をしました。2, 3年生は各教室で対面式の映像を見ながら参加をしました。



《セーフティ教室》



SNS の正しい使い方について講師を招いて学びました。情報モラルについて主体的に考える良い機会になりました。



《進路説明会》

3年生進路説明会では、緊急事態宣言中だったため会場には生徒だけの参加となりましたが、保護者向けに LIVE 配信を行いました。

《授業》

PC タブレットを使って調べ学習をしたり、発表作品を作ったり、デジタル教科書を使用して授業を行うなどICT機器を活用した学習活動を進めています。



体育館空調工事のお知らせ

体育館の空調設備工事が予定されています。工期は夏休み中を予定しています。体育館を利用する部活動は、府中第五小学校と府中第七小学校の体育館を使用させていただく予定です。約1ヶ月体育館が使用できずご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。